



052942-000-2

特58-354

理学字解

今村 元雄 / 編

M8

CAA-0329



理學字解

理學

石核書園

特58 35

理學

名家譯述

寰區試採英

萃弄巖巖一

部新編是陳

齋勿嘲依極

畫葫蘆

題理學字

解首

今井璞

書

理學字解

理學

石梅書園

特58 354

名家釋述

寰區試採英

萃弄巖窟一

部新編是陳

腐勿嘲依樣

畫葫蘆

題理學字

解首

今井璞

書

理學字解

例言

理科ノ學タル其旨浩

妙ニ其文精確晚生

難キヲ不徒譯字ノ曉シ

ハ故ニ諸

リ其大義

ヲ採纂メ此編ヲ成シ

發蒙ノ助トス要スル

ニ援引ノ書ノ真面目

ハ失ハス猶鳳ノ一毛

ヲ見テ全體ノ五彩ノ

Empty table with 10 vertical columns and 1 horizontal row.

美ヲ知ル可シ塵々ノ
 小冊子紙葉ノ倍加ヲ
 恐レ譯文ノ簡優ヲ摘
 山初學ノ蒙生ハ隔靴
 ノ恨アラシキ乎輯者モ
 亦掃葉ノ嘆ハ免レス
 ト謹白ス

璞識

理學字解目錄

有機體	引カ	異顯	濇	異重	溶解	抱	合親和	發出機	膨	眼張力	抱合物	瑯料	排氣鐘	福爾	答撰格羅母	反響音	避震線	偏有性	土	投著點	窒素	中	心	重心	蟲光	重	力	燐素	流體	兩	金花	流動體	良
-----	----	----	---	----	----	---	-----	-----	---	-----	-----	----	-----	----	-------	-----	-----	-----	---	-----	----	---	---	----	----	---	---	----	----	---	----	-----	---

斯百幾石

理學字解

今井元雄輯

イ

有機體

自然造化カノ外更ニ

各物自主ノ生活カア

リテ自己ノ營養ヲナ

シ長育繁茂シ且種子

有リテ生々相繼ギ又

同性同形ノ物ヲ相續

シテ永世絶エサル者

即植物動物二類ノ如

キ是ナリ

引カ

萬物ノ情ハ稟子相ヒ

引カント欲ス即實質

ノカナリ總テ引カト

稱スル者ハ諸體互ニ

近接セムト欲シ既ニ

相接スレハ互ニ固結

セムト欲スル性ヲ云

フ造物者萬物ノ實質

ニ此カヲ附與ス相係

カリテ解散セス而メ

氣孔ハ唯實質間ノ空

隙ニシテ此カ有ル

ナシ

異顯温

異類ノ物質同量ノ者

ニ齊シク全度ノ温ヲ

加ヘ試ルニ種々ノ元

素其性ニ隨ヒ各其温

度ヲ異ニ爲ルヲ云フ

水素ハ温度ヲ高ムル

一最モ太カシ

異重

凡ソ萬物秤量ヲ具サ
ル者ナシ秤量ニ二ア
リ一ヲ真重ト曰ヒ二
ヲ異重ト曰フ真重ト
ハ唯秤量メ得ル所ノ
重サヲ徵シ異重トハ
固形滴状ノ二躰ハ水
ニ比スレハ輕重幾何
ヲ徵シ氣狀ハ大氣ニ
比スレハ輕重幾何ヲ
徵ス

溶解

凝體ノ凝聚カ衰エテ
流體ト共ニ流動スル
ヲ謂フ又溶解ト溶和
ト小ク同フメ大ニ異
ナリ溶解ハ物質稀薄
スルノミニメ變更セ
ズ溶和ハ溶テ後ニ性
ヲ改革ス又火熱ノ為
ニ流動スルヲ鎔融ト
名ツク

抱合親和

異類分ノ覆合シ新ニ
 從前ノ物ト異ナル者
 ヲ生スルナリ
 發出機
 凡ソ物ノ相抱合スル
 ヤ其他物ヨリ開綻遊
 離スル時ニ方リテハ
 其尋常相合フ時ヨリ
 遙ニ強烈ノ親和ヲ起
 スコアリ之ヲ名ク
 膨脹張力
 一種ノ張カニシテ温

素ヲ得テ而メ膨脹ノ
 増擴スル者ナリ
 抱合物
 ニ箇以上ノ元素相合
 メ一體ヲ成ス者
 瑠璃料
 時辰儀ノ表盤魚煙盒
 其他ノ金銀細貨ニ綯
 スル藥料ナリ我邦ノ
 七寶流シ廣東燒ノ類
 ナリ又瑠璃面玻璃面
 陶器面及ヒ瓷器面上

二畫工ヲ施サン爲メ
 着色玻璃ヲ製ス是ヲ
 名ケテ琉璃畫糸ト曰
 フ
 排氣鐘
 氣ヲ與人氣ヲ奪ヒ物
 ヲメ死活セシムルノ
 器
 小
 福爾答攝格羅母
 意太里亞ノ福爾答氏
 ノ發明セシ越歴カヲ

知ルノ奇器
 返響
 大氣音ヲ傳ヘ他ノ張
 カルニ衝觸スル時ハ
 則抗抵彈却シ以テ響
 線ヲ起スヲ謂フ
 避震線
 雷電ハ濛氣ノ起素ヨ
 リ發ス金屬ハ最モ越
 素ヲ引ク者トス故ニ
 古賢雷電ヲ金屬ニ引

テ撃雷ヲ避ル一良法
ヲ發明シ是ヲ造ル
偏有性

此物ニ具リテ彼物ニ
欠クモノヲ曰フ

土

土ヲ分テ純雜ノ二種
トス純土ハ即金屬ニ
メ白色臭味ナク水ニ
溶化セズ火ニ焚燒セ
ス粉樣ニメ磨碎スヘ

シ雜土ハ即大地ノ土

ニメ種々ノ物質混雜

ス純土ノ質ハ是生機

ナキ頑物ノ如クナレ

凡是ニ氣水鹽質及ビ

諸元素ヲ包摂メ凝體

ヲ結成ス

投著點

物ノ光線ノ射リテ鏡

體ノ平面ニ射スル處

ヲ名ク

千

窒素

動植ノ二物ハ固ヨリ
之ヲ稟有ス然レ凡單
ヘニ窒素ヲ以テスル
時ハ則火ヲ焚燒スル
一能ハス人畜之ニ遇
ヘバ呼吸窒息メ卒倒
ス植物ハ却テ此氣ニ
因リテ生育ス
中心
一カ之ヲ遠ガクルヲ
遠心カト曰フ一カ之

ヲ引クヲ重心カト曰
フ其二カノ中ヲ中心
ト曰フ

重心

物ノ重ノ聚ル處是ヲ
重心ト曰フ竹管若ハ
鞭杖ノ半ヲ指頭ニ安
スルニ落チガルハ其
兩端ノ重平均スレバ
ナリ指ヲ定點トシ此
端ノ重カヨク彼端ノ
落千ムト爲ルヲ支フ

是ヲ平均ト云フ諸物
體ニ皆重點アル此
ノ如シ

虫光

螢火ノ類或ハ海面ヲ

照ラス一種ノ虫アリ

是等ヲ名ク

重力

地球ニ於テハ是ヲ引

カト云ヒ物ニ在テハ

是ヲ重力ト云フ即亦

引カノ發象ナリ萬物

皆地球ノ引カニ牽引
サレ地球ニ向テ墜下
ス而メ其墜ル物品ヨ
リメハ更ヲ重力ト云
フ物品ニ固有スル重
サナリ

燐素

人身及ビ諸動物ノ體

中固有ノ元素ニメ墳

墓刑處等ハ必ス是ヲ

升騰ス燃氣モ亦是ヨ

十三
リ出テ共ニ親和カア
ルカ故ニ合シテ燐燃
氣トナリ温處ニテ清
氣ニ觸ルレハ乃燃エ
小ナレハ惑光トナリ
大ナレハ火球トナリ
高ク氣中ニ在レハ落
星ト爲ル又上氣中ニ
在テ氣狀體ナル者燃
エ後合メ石狀トナリ
地ニ墮ルヲ有リ是ヲ
氣石ト云フ

流體

水乳酒醋燒酒ノ類ニ
メ凝體ト氣狀體トノ
間ニ居ル者ナリ此物モ
温素ヲ取ルヲ多ケレハ
揮散メ氣狀體トナル
ヲ猶沸湯ノ蒸氣烟霧
ノ如シ
兩全花
植物ノ花ニ雌花ト雄
花ト有リ一株ニメ花
ニ雌雄アル者ヲ曰フ

又此雄花トモ名ノ
流動體

融液躰ト浮氣躰ノニ

躰ヲ合ス者

良導體

物ノ温ヲ導クハ互ヒニ

遲速アリ學者之ヲ泥

稱ノ其導クノ速カナル

ヲ良導躰ト曰フソノ

是キモノヲ不導躰ト

名ク金銀ノ如キ密ナ

ル固形物ハ良導躰ニ

メ綿絮海綿ノ如キ氣

孔多キ纖維質ノ固形

物及ヒ瓦斯蒸氣ノ如

キ流動物ハ皆不導躰

ナリ

ヲ

應抽性

受展性アル金屬又抽

テ細線ト爲ス可キモ

ノ

カ

硬竅性

一物アリテ一旦空處
 ヲ填充スル時ハ他物
 ヲメ敢テ其処ニ入ル
 一能ハサラシム故ニ
 二物同一ノ時間ニ同
 一ノ処ヲ領取スル
 ナキ是ヲ物ノ礙礙性
 ト曰フ
 瓦斯
 精微ノ氣類ニメ或ハ
 類氣流體ト譯ス大氣
 ト分別セシカ爲ニ晚

近是ヲ瓦斯ト名ク畢
 竟大氣モ亦數種ノ瓦
 斯襍合セル者ナリ諸
 物溫素ヲ含ム一過多
 ナレハ其物體ノ元素
 自ラ融解シ溫素ト抱
 合メ氣類トナル即瓦
 斯ナリ
 瓦斯燈
 鏡屑硫酸ニ水ヲ加テ
 瓦斯ヲ取リ是ヲ燧ニ
 貯ヘ火ヲ點スレハ燃

ル丁燈火ノ如シ是硫
酸ト水中ノ酸素トハ
鏡ト抱合シ水中ノ水
素自ラ遊離メ瓦斯ト
ナリ出ツ
加速動
物躰ノ進ムニ應シ漸
ニ速カノ加ハルモノ
其次弟ニ減スルモノ
ハ減速動ト名ク
鹹汐光
暗夜ニ海面ヲ拍テハ

鹹水光ヲ發メ浪花恰
モ星ノ紛飛スル如キ
ヲ見ル是ナリ
假光體
他ノ光素ヲ受テ光ヲ
現シ或ハ形色ヲ見ハ
ス者ナリ月鏡金石土
水等ノ類
可燃體
火ヲ點メ燃ル者ヲ曰
フ酸素ト交力親切ナ
リ故ニ物體焚燒スレ

カ

ナ

一七
 是ニ氣中ノ酸素ヲ
 引キ酸素ハ燃體ニ就
 テ焚燒ヲ誘起シ溫素
 光素ヲ抱合メ焰ヲ發
 ス
 可展性
 分子密ニ錯綜スル者
 ヲ韌ト云ヒ又可展ト
 毛云フ凝聚力強クメ
 延展シ易キニ因ルノ
 之ニ非ス或ハ溫素ノ
 助ヲ藉リ或ハ流動物

一八
 ノ助ヲ藉ル
 假性
 寒溫燥濕明暗凝流硬
 柔張持是ヲ名ク物ノ
 必ス然ルニ非ス時ニ
 隨テ變化スル者ナリ
 乾燥植
 凡ソ植物自己ノ滋養
 ヨリナホ多量ノ水ヲ
 蒸發スル者ヲ滋潤植
 ト云ヒ又其吸收セシ
 水分ヲ僅ニ蒸發スル

者ヲ乾燥植ト云フ
寒暖計

水銀ノ張カヨリ工夫

セシ器ナリ華氏列氏

模氏ノ三様アリ

瓦爾發尼斯繆斯

銅ノ圓板ヨリ起ルヲ

陽トナシ亞鉛ノ圓板

ヨリ起ルヲ陰トナス

磁石水ヲ灌注スレハ

忽ニ電氣ノ力ヲ起ス

陰陽ノ二線ヲ兩手に

把レハ全身ノ擊衝ヲ

覺フ

瓦刺尼多

一種ノ至剛石ノ集合

メ結成ス故ニ其色一

ナラス多ク斑點ヲ帶

フ諸石山ノ基礎ヲ為

ス者

夕

大氣

天地萬物ニ彌漫セル

氣ノ總稱ニメ涯際ナ

ク分^{ウシカ}界^{カイ}ナシ然^{シカ}レ地^チ
 ヲ去^サル^レ丁^チ近^{チカ}ケレハ諸^{シヨ}
 瓦^ガ斯^ズ水^{スイ}蒸^{ジウ}氣^キ多^{オホ}クメ^イ逾^{ユク}
 稠^{チウ}厚^{コウ}ナリ是^{コト}ヲ^モ濛^{モウ}氣^キト
 モ曰^イフ
 大^{ダイ}氣^キ四^シ性^{セイ}
 明^{メイ}抗^{カウ}重^{チュウ}彈^{タン}ヲ云^イフ氣^キノ
 透^{トウ}明^{メイ}ナルハ人^{ヒト}ヨク是^{コト}
 ヲ透^{トウ}シテ諸^{シヨ}物^{ブツ}ヲ看^ミル
 ヲ以^{モツ}テ知^シル可^ベシ是^{コト}其^{コト}
 一^{イツ}性^{セイ}ナリ大^{ダイ}氣^キノ抗^{カウ}力^{リキ}
 アルヲハ風^{カゼ}ヲ以^{モツ}テ是^{コト}

ヲ知^シル是^{コト}其^{コト}二^ニ性^{セイ}ナリ
 凡^{ソウ}物^{ブツ}アレハ必^{カナラ}重^{オモシ}カア
 リ大^{ダイ}氣^キ最^{モト}輕^{カサ}シト雖^{イヘトモ}其^{コト}
 地^チ上^{ジヤウ}ニ在^アル^レト甚^{シカ}高^{カク}キ
 が故^{ユヘ}ニ地^チ面^{メン}ヲ壓^{オス}スル
 一^{イツ}甚^{シカ}大^{ダイ}ナリ是^{コト}其^{コト}三^{サン}性^{セイ}
 ナリ大^{ダイ}氣^キハ彈^{タン}力^{リキ}強^{キウ}盛^{セイ}
 ニメ縮^{シュク}張^{チヤウ}シ易^{ヤス}ク是^{コト}ヲ
 縮^{シュク}張^{チヤウ}セシムル所^{コロ}ノ原^{ゲン}
 因^{イン}去^サルトキハ其^{ソノ}本^{ホン}ニ復^{カヘ}
 リテ平^{ヘイ}均^{クン}ス是^{コト}其^{コト}四^シ性^{セイ}
 ナリ

大地表面

大地ノ表面ハ三四尺
ハ大氣及ヒ太陽ノ光
線融通シ動物植物腐
化スル故ニ地底ニ比
スレハ土質精細ニメ
膏腴多クメ砂石雜リ
テ氣孔通シ津液鹽質
流溢メ動物植物繁殖
スル下恰モ母體ノ胎
兒ヲ養長スルガ如シ
單擇親和

刺篤亞斯ニ消酸ヲ和

スル片ハ硝石トナリ

又醋酸ヲ和スル片ハ

醋酸刺篤亞斯トナリ

テ炭酸ヲ放離スルカ

如シ

炭素

天然純粹ニメ生スル

有リ又他ノ諸物ト和

メ普ク産ス而メ有機

體ノ關ク可カラザル

成分ヲナス凡ソ物質

ノ明^{イリヤウツヤク}亮^モ淨^イ白^キノ者^モト雖^イ
之^ニヲ煨^{カシ}燒^ススレハ則^ス黒^ク
色^トト爲^ル者^ハ炭^{タニ}素^ソヲ
帶^ヲレバナリ

炭酸氣

人^{ジン}畜^{シユ}ノ呼^キ吸^キスルヤ空^{クウ}
氣^キ中^{チュウ}ノ酸^{サン}素^ソヲ資^リテ血^{ケツ}
質^{シツ}ヲ調^テ和^スシ身^シ體^{タイ}ヲ營^{エイ}
養^{ヤウ}スル爲^ニナリ而^{シテ}メ人^{ジン}
畜^{シユ}ノ血^{ケツ}中^{チュウ}ニ含^ムメル炭^{タニ}
素^ソハ今^{イマ}吸^スフ所^トノ酸^{サン}素^ソ
ト親^カ合^ガシ炭^{タニ}酸^{サン}氣^キト成^ス

リ呼^キ氣^キニ隨^シテ體^{タイ}中^{チュウ}ヲ
謝^シ去^サル

彈力

直^{チキ}ナル物^{モノ}ヲ彎^カ曲^クシテ
手^テヲ放^ナセハ復^マ原^{ゲン}ノ直^{チキ}
形^{ケイ}ニ彈^{ダン}キ反^カス力^{リキ}アル
之^{コト}ヲ云^フ

逃市

沙^サ海^{カイ}中^{チュウ}ニ遙^{ハル}ニ湖^コ水^{スイ}草^{ソウ}
木^{モク}村^{ソン}落^{ラク}等^{トウ}ヲ見^ミル行^{カウ}旅^{リョ}
ノ人^{ヒト}其^{ソノ}地^チニ就^ツカント
欲^{ホウ}スレハ俄^ガ然^{ゼン}トメ他^タ

所ニ轉入皆太陽ノ光
 線沙上ニ返射シ此異
 ラ現ス亦海市ノ類ナ
 リ
 速カクソ
 重カクヲ併合スレハ動
 カト云フ喻ヘハ鍍掄
 ノ重カト之ヲ折ツ速
 カトヲ合メ動力強大
 トナリ又針ノ忽チ水
 中ニ進入スルカ如キ

是ナリ
 疎體
 氣孔多キ海綿状ノ如ク
 キモノ氣孔少キ黄金
 ノ如キモノヲ密體ト
 名ク
 子
 粘着性
 粘着カナリ分子ノ相
 固着スル攪リ同質ノ
 物ノミニ止ラス異質
 ノ物體ト雖相觸ル

子ナ
 三十三

片ハ之ヲ引キテ貼合
スルモノアリ

ナ
納都烏爾

凡ソ物ノ覆載ノ間ニ
散在メ我五官ニ觸覺

スル者之ヲナチウ
ト云フ萬有ノ義ナリ

是ニ由テ其體性ノ理ヲ
覈究スル之ヲナチウ

義ナリ
謂フ究物理学

ム

無機體

自然造化力ニ頼リテ

生育シ自己ノ固有ノ
活機ナク其生育スル

毛唯同質同性ノ者附
着凝聚シ次第ニ増大

ニメ榮枯死生ノ變ナ
キ者ヲ云フ金石ノ類

是ナリ
魚鱗機象

形象ノ量ル可キ無キ

ヲ謂フナリ温素光素
越素瓦兒波尼素磁石
素ノ五元素ハ其性カ
ハ確知ス可シト雖其
形質ハ觀ル可カラス
メ輕重モ亦秤量ス可
カラス
無盡性
宇宙間ノ物消滅スル
ノ理ナシト雖眼カノ
見ルヲ得ガニ至ル
片ハ之ヲ完盡ト謂フ

一木片ヲ取リ之ヲ焚
燒ス忽チ其形ヲ失フ
ト雖一分ハ煙炎トナ
リ飛散シ一分ハ灰及
塩トナリテ残留シ散
テ其盡クルヲ見ス
ウ

運動性

物體ニハ歳ナ習慣性
アリテ自ラ動クナ
シト雖外力ノ強キニ
遇ヘハ動カガル者ナ

シ是レ蓋シ物ニ運動
性アルニ因レリ
溼素ラ部

無形ノ元素ナリ太陽
ヲ原トシ光線ニ循テ
大氣ニ彌漫シ萬物ニ
充貫メ温暖ヲ賦與シ
凝體ヲ融解シ流體ヲ
氣化ス故ニ天地ノ間
一切庶物溼素ヲ稟含
セザル者ナシ
溼素張力同上

溼素ハ張力最モ大ニ
メ萬物ヲ融解ス是ヲ
以テ凝體ハ融化シ流
體トナリ流體ハ揮散
メ氣類トナル喻ヘハ
水ノ煮沸メ蒸氣トナ
リ水蒸氣ノ雲霧トナ
リ諸香臭ノ氣中ニ揮
散スルガ如シ但シ水
蒸氣ハ大氣ニ比レバ
水氣ヲ含ムト多ク溼
素ヲ帶ルト少ナキ故

ニ稠厚ニメ雲霧トナ
ル

ク

空氣

其質一種ノ者ニ非ス

四分ノ窒素ト一分ノ

酸素ト混淆シ成リシ

者ナリ唯精微透明ニ

メ萬物ノ内外ニ充填

シ萬類ヲ生育ス

光素

無形ノ元素ナリ溼素

ト抱合シ太陽及ビ物

體ニ稟含メ光線ヲ現

ス光素ニ顯潛ノ二様

アリ潛光素ハ物體ニ

在テ平常目觀ス可カ

ラズト雖摩盪擊搏ニ

由テ顯光素トナリ送

逸ス喻ヘハ隕石相擊

テ越素ノ火光ヲ閃發

スルガ如シ

光體

太陽火燐螢猫眼海蟲

腐魚敗肉夜光木等ノ
 如ク暗處ニ在テ光ヲ
 現ハス者ナリ
 火
 溫素光素ト抱合メ形
 ヲ現ス太陽モ亦是ニ
 属ス溫素ノミ單行ス
 ルヲ溫ト曰ヒ熱ト曰
 フ光素ノミナレハ火
 ト稱セス熱ト謂ハス
 唯光ト曰フ螢光燐光
 ノ如シ

和量
 甲乙ノ元素抱合スル
 トモ妄ニ抱合シ得ル
 ニ非ス必ス各元素ニ
 固有一定量アリテ
 以テ互ニ抱合ス此定
 量ヲ和量ト名ク
 畫度鐘
 玻璃器ヲ用フ火石尖
 ヲ以テ度目ヲ劃ス瓦
 斯ノ性質ヲ檢察スル
 ニ用フ

火珠

半球形ノ玻璃二箇ヲ
合セテ圓球トシ中ニ
亞爾箇兒或ハ錫水太
約百四十彬度ヲ實シ
正ク太陽ニ對スルハ
其球ヲ距一十尺十寸
一分ノ處ニ光炎ヲ生
ス其光明爛燦目ヲ眩
メ熟視シ難シ

元素

ケ

元行トモ實素トモ云
フ單質ニメ分解家再
三數回是ヲ剖解スレ
氏純粹單一ニメ毫モ
異性ノ物質夾雜セガ
ル者ナリ

結晶法

物品ニ定規ノ形ア
リ是ヲ得セシムル
ヲ云フ溶解メ結晶
セシムル之ヲ濕道
結晶法ト云フ然ラ

ケ

ハルモノ是ヲ燥道
結晶法ト云フ同属
ノ結晶ニ體相合メ
一結晶ヲナスモノ
孳體結晶ト名ク三
體合スルモノヲ孳
體結晶ト名ク又正
結晶ハ其結晶ノ一
ナルヲ云フ天然人
巧ノ別ナク總テ六
面柱ニ結晶ス
堅硬生

金属ノ如ク凝聚カ強
クメ其分子間ニ侵入
セントスル外物ニ抗
シ輒ク之ヲ斷ツテ能
ハガルモノ又其分子
ノ密ニ錯綜スルモノ
是ヲ柔軟性ト曰フ
顯溫素
溫素ヲ帶ルテ多クメ
體表ニ顯ハレ是ニ觸
テ溫熱ヲ覺フ喻ヘバ
火焰及ヒ太陽ノ光線

ノ如シ

驗溫儀

溫度冷度ヲ指ス器圓

形ニメ外形時辰儀ト

同シ銀殼ニメ盤面ハ

白磁周邊ニ寒暖ノ度

ヲ標ス

驗氣器

濛氣ノ壓力ヲ測ルニ

用フ濛氣輕稀ニメ壓

カ微ナレハ此器ヲ壓

ス下少ナクメ管中ノ

水銀降り濛氣重稠ニ

メ壓力甚シケレハ此

器ヲ壓スル下多クメ

管中ノ水銀升ル故ニ

其壓力ノ多少ヲ驗メ

各地ノ高低ヲ測リ知

ル

驗濕器

人髮ヲ鱗蓬鹽ノ灰汁

ニ浸シ洗淨メ油氣ヲ

除キ風乾メ濕氣ヲ去

リ四滑車ノ上ニ掛ケ

ケ

下端ニ鉛錘ヲ繫ク漿
 氣燥ケハ髮條短縮メ
 升リ濕レハ髮條伸弛
 メ降ル其伸縮ニ隨ヒ
 燥濕ヲ驗ス
 驗水器
 水ノ善惡ヲ知ル器ナ
 リ硝子管ニ度分ヲ畫
 シ下端ニ水銀ヲ納シ
 者ナリ此器ノ水ニ沈
 ムノ深淺ヲ測リ流動
 物ノ稠稀ヲ知ル沈ム

深キ者ハ其水善良
 ナリ
 輕氣球
 空中ヲ飛行スル籠船
 ニメ法朗斯人始テ之
 ヲ發明シ火氣ヲ以テ
 球内ノ空氣ヲ膨脹輕
 稀ナラシメ中天ニ輕
 拳セシニ又水素ヲ球
 中ニ輸入メ昇騰スル
 ノ法ヲ發明ス

雰圍氣

大氣ノ地球ノ外ヲ周
圍メ萬物ヲ覆幬シ雰
霧ノ様ヲ為ス者ヲ云

複質

各種ノ單質ヲ複合メ
成ル故ニ其單質ノ多
性稟性ヲ覈知シ再ヒ
是ヲ合和スレハ復々
故ノ複質トナル

浮氣體

其分子互ニ相反撓シ
溫度ニ從テ膨脹スル
ノカアル者空氣ノ類
不透性

固性トモ名ク一物既
ニ其處ニ居レハ則他
物間スルヲ能ス

分性

物ハ至眇ト雖諸分子
聚合メ體ヲナス其分
子間毎ニ氣孔アリテ
存ス故ニ是ヲ分解ス

可シ分解ノ細小ニ至
ルモ亦底至ナシ
分子

大至極ノ微塵ニメ復
タ分析ス可カラザル
者ヲ之ヲ分子ト云ヒ
又實質トモ号ス

分析術

凡ソ種々ノ物ヲ聚合
メ一物ト成シ又一物
ヲ分析メ種々ノ物ト
成スヲ云フ
舍密術ト

同シ

噴火山

山中ノ空隙ニ多ク硫
黄水素ヲ含ム
タマ破裂メ孔ガ生
シ大氣中ノ清氣是ニ
觸レテ燃燒スル者噴
火山ノ類ナリ
噴火山

是ヲ的列苦的雨ト謂
フ即チ漏斗ヲ謂フナ
リ蓋シ形状ヲ以テ名

ク
赴水帶

皮ヲ以テ囊ヲ製成シ

氣ヲ吹キテ之ニ満シ

メ骨下ニ繋グ巾ハ能ク

水ニ入テ沈マズ舟

楫ノ損壞シタル片溺

ルノ災ヲ免ル可シ

コ

呼吸

此主用ハ人氣ヲ吸納

シ肺ノ囊筋ニ由テ生

氣ヲ動脈血中ニ賦與

シ滿肢體ニ普達シ營

養ス殊ニ是ヲ以テ血

ノ製造ト赤色ヲ資成

ス既ニ營養シ了レハ

無用ノ氣類ハ靜脈血

中ノ炭素ト抱合メ炭

酸瓦斯トナリ肺動脈

ヨリ肺ニ入り呼吸ト

ナリ排泄ス

固形體

分子互ニ固着メ相離

レス且常ニ其形ヲ變

セサル故一隅ヲ拳テ

以テ全體ヲ動カス可

キ者ヲ曰フ

護謨

植物ノ粘液乾枯スル

者ヲ云フ

工

遠心カ

即張力ナリ球ヲ急轉

メ索ノ斷スルヲ有ル

ハ遠心カヨリ起ル濕

地ヲ疾行スル車輪ヨ

リ泥土ノ飛散スルモ

是が爲ナリ

越歴的兒

略メ越歴トナス其元

素ヲ越素トス其機カ

ヲ越カトナス支那人

ハ電氣ト譯ス越歴ノ

名ハ希臘國ノ語ニ現

珀ヲ越歴的倫ト曰フ

ヨリ出ツ

越歴二種

エ

三十一

玻璃ヲ摩擦メ發スル
 モノヲ玻璃質越歴ト
 云ヒ又積極ノ發越ト
 名ク積極トハ積ニテ
 其定量ニ過ルモノニ
 メ増越歴ノ義ナリ又
 封蠟ヲ摩擦メ發スル
 モノヲ樹脂質越歴ト
 云ヒ又消極ノ發越ト
 名ク消極トハ減メ其
 定量不足スルモノニ
 メ減越歴ノ義ナリ

液管

植物ノ根ハ多ク土中
 ニ在テ養液ヲ土ニ資
 リ之ヲ幹ト枝葉トニ
 運メ其營養ヲ爲ス者
 ヲ曰フ縱橫ノ分理網
 羅ノ如シ
 粵幾斯
 草木ノ杵汁或ハ泡湯
 或ハ煮汁ヲ煎熬メ膏
 ト爲ス者ノ總稱ナリ
 鉛樹

少許ノ結晶醋酸鉛ヲ
 取り少量ノ水ニ溶シ
 テ玻璃壺ニ盛リア鉛
 一片ヲ液中ニ懸垂ス
 レハ少爲ニメ其亞鉛
 灰色ノ皮膜ヲ生シ之
 ヨリ爛タル枝極漸
 次ニ分岐メ其狀宛モ
 一株ノ樹木ニ類ス
 泳氣鐘
 海底ニ入り長ク溺レ
 スメ覆船ノ沉貨ヲ探

リ或ハ奇珠珍宝ヲ採
 リ管作ヲ爲スニ用ユ
 ル器
 テ

傳音

大氣ハ能ク音響ヲ傳
 送ス夫レ音器物ノ顛
 動ヲ起スヲ有テ之ヲ
 大氣ニ傳レバ大氣モ
 亦顛動ヲ起シ之ヲ人
 耳ニ送ル大氣ノ稀稠
 ニ由テ音響ノ大小ア

リ
 抵抗カ
 抵抗トモ云フ凡テ物
 ハ物ニ抵抗スルカニ
 因リテ動くモノナリ
 飛鳥ノ如キ羽翼ニテ
 空氣ヲ按ス故ニ空氣
 之ニ抵抗メ能ク飛舞
 セシムルナリ
 填充性
 凡ソ物アレハ必ス空
 處ヲ填充ス故ニ其填

充スル處ヲ以テ物ノ
 大小ヲ定ム
 定性
 萬物皆大小長短方圓
 アリ其状固ヨリ同ジ
 カラスト雖各一定ノ
 形有ラサルハナシ故
 ニ其外面形状ノ視ル
 可キ物ヲ定性ト曰
 フ
 抵抗機
 甲乙ニ體相層接スレ

凡^{ソレ}抱^カ合^カヲ發^ツセズ別^レニ
 丙^ノ體^ハ有^リテ之^ニ交^ル
 片^ハ甲^乙忽^チ抱^合メ
 其^ノ丙^ノ體^ハ毫^モ變^化シ
 受^ルコトナシ之^ヲ名^ク
 天然^七色
 紅^色 橙^色 黃^色 綠^色
 青^色 紫^色 堇^花 色^ヲ云
 電^氣善^導物
 金^屬ハ 鎔^化ト 鍛^鍊ト
 論^ナク必^ス電^氣ヲ

引^撮ス故^ニ名^ク非^金
 屬^ハ電^氣ヲ引^撮セズ
 故^ニ之^ヲ電^氣不^導物
 ト云^フ
 傳^信機
 此^ニ越^歴ノ機^ヲ置^キ
 彼^ニ鍛^鐵ノ機^ヲ設^ケ
 彼^此ノ間^ニ銅^線ヲ張^ハ
 リ此^ノ線^ヨリ越^氣ヲ通^ス
 スレハ距^離ノ遠^近ニ
 拘^ラス其^ノ氣^忽然^ト鍛^鐵
 鐵^ニ感^メ他^ノ鐵^片ヲ

引ク 隨テ 其氣力ノ流
 通ヲ 絶テ ハ 乃復々之
 ヲ 放ツ 斯ノ 如ク 一通
 一絶 隨意ニ 鏡片ノ 運
 動ヲ 起ス 其動機ヲ 鍼
 端ニ 傳ヘテ 紙上ニ 記
 号ヲ 印シ 之ニ 由テ 音
 信ヲ 萬里ノ 遠キニ 通
 ス
 ア
 壓カ多
 大氣地球ヲ 周圍シ 重

積ノ 重量ヲ 以テ 萬物
 ヲ 地上ニ 壓着シ 傾
 覆ナカラ 使ル者 又物
 體ニ 各自ノ 壓スル力
 ノ 有ルヲ 云フ
 壓榨性
 カヲ 以テ 物ヲ 壓迫ス
 ハ 片ハ 其容量ノ 縮小
 スルモノ
 亞磷酸
 大氣ノ 普ク 通ゼサル
 處ニ 於テ 燐ヲ 焚燒ス

ル片ハ此酸ヲ得水分
ヲ含メル者否ラサル
者アリ

酸素

人畜ノ生活ヲ助ケ火
ノ燃性ヲ養フ故ニ又
之ヲ生氣トモ云フ燃
熱ノ原ナル故ニ器械
ニテ強ク之ヲ壓縮ス
レハ光ヲ起シ火ヲ發
ス凡テ氣中ノ酸素ハ

燃體ニ着テ焚燒ヲ爲
シ温素光素之ニ抱合
メ火煙ヲ發ス

三體

凝體流體氣體ナリ又
三態トモ云フ萬類ニ
ナ是三體ニ形ヲ現ジ
又三體ニ其形ヲ變ス
凡ソ各物ノ氣ヲ虚質
トシ堅物ヲ實質トシ
水類ヲ浮質トス是ヲ
三質トモ名ク

酸化物

酸素若シ他物ト親和
スル片ハ是ヲ酸化ト
云フ他物ノ酸化スル
者ヲ指テ酸化物ト名

キ

喙収孔

植物ノ葉背ニ孔アリ

テ氣水ヲ喙収ス

氣孔

萬物咸ク氣孔アリ即

物ノ分子ト分子ト接

着セシ所ノ空隙ヲ云

凝聚親和

唯同種ノ成分相ヒ聚

マリテ本来ノ質ト同

キ者ヲ生スルヲ各ク

一滴ノ水他滴ト合流

シ一球ノ水銀他珠ト

合一スルノ類

凝體

溫素ニ因テ融化シ流

體トナル故ニ流體ニ
含メル溫素ヲ奪除ス
レハ復タ體トナル

響音線

音響音ノ通ズル線ノ如ク
キヲ云フ猶光線ノ如ク

銀樹

消酸銀液ハ他ノ金屬

ニ因テ分離シ還元ス
之ヲ壘中ニ盛り瀕珠
一顆ヲ沈メテ静置ニ

置ハ其銀還元メ樹枝
ノ狀ヲ爲ス之ヲ銀樹
ト号ス

眞性

萬物ニ具有スル性ヲ
云フ砂糖ハ甘ク醋ハ
酸ク氷ハ冷ニ火ハ温
ナル如キ是ナリ

二性

牽合ノ性ト推拒ノ性
ト云フ萬物ニ牽引

ノカアルト熱性ニ傳
散メ能ク物ヲ推拒ス
ルトヲ云フ

習慣性

運動スル所ノ體ハ直

線ニ進行メ其動ク

復タ息マサルヲ欲シ

又静止スル所ノ物ハ

常ニ外力ニ抵抗メ動

カサルヲ欲スルヲ曰

フ

受展性

金銀銅鉄ノ如ク鋸延

メ薄葉ト為ス可キモ

ノ又陶器ノ土埴シテ

陶器ヲ造ル等

相擊熱

二物ノ相擊テ成ス夏

燧ヲ鑽リテ火ヲ取リ

石ヲ敲ヒテ火ヲ出ス

ノ類

蒸發氣

人ノ皮膚ニ數万ノ細

微ノ鍼眼孔アリテ常

二蒸氣ヲ發散ニ隨テ
惡氣ヲ誘導スル者
植物三品

一ハ水植凡テ水中ニ
生スル品又海中ニ生
スル昆布ノ類モ之ニ
屬スニハ陸植凡テ地
上ニ生スル品ニハ寄
生ナリ他木ニ寄託メ
生スル品

聚細胞體

植物ノ肉體ハ盡ク細

長ナル小管ノ相聚

メ成リシ者ナリ其中

無數ノ細胞アリテ胞

中ニ脂油水ノ類ヲ含

ム是ナリ

死水

湖池或ハ沼澤ノ水ヲ

名ク

十二宮

白羊宮金牛宮雙女宮

巨蟹宮獅子宮室女宮

天秤宮天蠍宮人馬宮

磨羯宮寶瓶宮雙魚宮
 ナリ此十二宮ハ太陽
 ノ一周スル時節ヲ測
 定ス可キ爲ニ設ク即
 三十日毎ニ太陽ヲ此
 一宮ヨリ他ノ一宮ニ
 移ルトシ其每宮ノ間
 ヲ三十度ト定メ總計
 三百六十度ト爲スナ
 リ星ノ聚マル者ヲ標
 的トシ諸物ノ各ヲ假
 用ス猶都下ノ街區ニ

諸般ノ名ヲ命ズル如
 シ
 振子
 此物ノ動搖ニ由テ地
 球ノ引カノ差異ヲ驗
 シ以テ地球ノ形状及
 ビ山岳ノ高低ヲ量識
 ス
 稱水法
 水ヲ以テ諸物ノ輕重
 ト混交トヲ檢査ス其
 術ハ銚ト物ト衡平ヲ

得テ而メ其物體ヲ水
中ニ挿ムハ則重量
減メ而メ稱下ル其減
度ヲ以テ其體ノ本重
トス
蒸發孔
植物ノ葉面ヨリ晝日
ハ酸素瓦斯ヲ蒸發シ
以テ大氣ノ消ヒヲ補
フ其蒸發孔ヲ名ク
酒表
玻璃ノ球ノ上ニ長キ

桿アリ之ニ晝クニ度
數ヲ以テス酒ノ厚薄
ヲ驗ス火輪船ニテハ
毎ニ此器ヲ以テ水ノ
鹹淡ヲ辨ス

モ

濛氣輪

大氣地球ヲ周迴メ萬
物ヲ覆育スル故ニ是
ヲ濛氣輪ト曰フ地球
ハ卵黃ノ如ク濛氣ハ
卵清ノ如シ

毛孔管マウラウツマブ

玻璃ノ細管ニメ其一
頭ヲ水ノ中ニ浸セハ
水ハ自然上達ス其管
愈々細ケレハ上達ス
ル愈々高シ又節水管
提水管吸水管壓水管
アリ
セ
舍密親和
異類分ノ相ヒ引テ親
和スルカニメ引カ

ノ一種ニ属ス故ニ一
ニ舍密引カト名ク然
レ凡彼此ヲ擇ハス甲
乙ニ拘ラス盡ク親和
スルニ非ズ
舍密八門
理科舍密氣域舍密植
物舍密動物舍密山物
舍密醫學舍密百工舍
密厚生舍密ノハヲ曰
フ
尖樞

光線ノ併行シ来リ一
 尖ニ聚會スル之ヲ曰
 フ又燃點トモ曰フ
 線
 點ハ長短闊狹ナシ萬
 物成形ノ原ナリ點連
 リテ線ナル線一點ヨ
 リ起リ直ニ他點ニ到
 ル者ハ直線ナリ屈撓
 スル者ハ弧線ナリ二
 點ヨリ起リテ末相合
 スル者ハ幅線ナリ起

益判ル、者ハ判線ナ
 リ直ニ垂ル、者ハ鉛
 線ナリコレヲ横ニス
 ル者ハ地平線ナリ又
 曲線界線分線角線平
 行線斜角線接線等ノ
 名アリ
 晴雨計
 空氣ノ壓力ヲ測リ晴
 雨ヲ知ル器空氣稠厚
 ナレハ壓力強キ故ニ
 水銀ノ升ルヲ以晴ト

レ稀薄ナルハ水銀ノ
降ルヲ以テ雨トス
接聲筒

器ノ形揚聲筒ノ如シ

彼ハ入ヲ呼ニ用ヒ此

ハ遠キヲ聽クニ用ユ

共ニ響線ヲメ一處ニ

聚メテ散ラサハル故

ナリ

石鹽

原ヲ地下ノ伏流ノ水

脈ニ資ル亞弗利加地

方ノ海ニ遠キ諸部ノ
如キ皆此ヲ仰テ生活
ス

ス

水素

形色十ク臭味ナシ大

氣ヨリ輕キ一十四倍

其性ハ能ク燃テ焰ヲ

發ス然レ氏大氣ノ酸

素ヲ引カレハ燃ル

無シ

水蒸氣

ス

水ノ體タル極微相集
 リテ以テ成レ温暖ヲ
 得レハ則極微散メ氣
 状トナル此氣稠厚ナ
 レハ濕氣多シ過多ニ
 及ビ凝聚メ雲霧ト爲
 ル
 水秤
 屋宇ヲ造リ或ハ河道
 ヲ掘ルニ其平ヲ得ン
 ト欲スルニハ此器ヲ
 用ヒザルハ無シ

斯百幾石

此石ヲ以テ書畫ヲ硝
 子板上ニ寫メ其筆痕
 ヲ見ズ氣ヲ以テ嘸レ
 バ其畫ノ所ノ物悉ク
 現ズ

ス

官許明治八年四月

同年十月出版

著述人 平民 今井元雄

和哥山縣下第一大區三
小區下六軒一九番屋敷

出版人 平民 花井ちく

大阪府下第一大區十九小區
安土町四丁目第十一番地



